

きらめき

プラス

霜月 Vol.39

江戸の粹 新内

新内如月派二代目家元

鶴賀 岑代寿

みえない音を形ある感動に

作家・音楽プロデューサー

浦久俊彦

今まで実家で独り暮らししていた母(83歳)ですが、要介護2になり、独り身で仕事をしているのですが、同居して母の介護をしようと考えています。

今、母と自分の為にも介護について勉強しているのですが、その中で一つ思ったことがあります。もしかしたら間違った考え方かもしれません、子育てでは、近所のお母さんが集まって一緒に愚痴を言い合ったり、一緒に面倒みたりしているのに、介護はどんなにつらても、その家族のみが背負つていかなければならず、孤独で閉鎖的な感じがします。

近所で介護している方々と助け合つたりすることはできないのでしょうか?なんだか変な質問で申し訳ありませんが、近くに分かつてくれる人がいれば、気持ち的にも助けられるような気がするのですが。

お答えします

たしかに…。仰せのとおりですね。

介護と子育てはどこか似ていますね。いや、相似形かも。老いた親を子どもが介護するこ

近くに分かつてくれる人がいれば、気持ち的にも助けられるような気がするのですが。

国は、2000年に介護保険制度を造りました。しかし最大の間違いは、営利企業の参入を無条件に許したことだと思う一人です。果たして15年後、朝夕には街中をワゴン車が走り回るはいいとしても、街の景色から介護老人が消え去りました。介護が、株式会社の金儲けの道具になりました。株主のための介護が幅をきかせていました。そんな中、NPO法人つどい場さくらちゃんの丸尾多重子さんは、平成27年8月16日、神戸新聞のオピニオンに「ビジネス化された介護保険」(長尾和宏オフィシャルページからPDFが見られます)という文章を書かれていますが、まったくそ

在宅医療は健幸医療

長尾 和宏

医療法人社団裕和会・理事長
長尾クリニック・院長



赤子は幼児に成長すると、保育園や幼稚園に預けられます。これは60年後には、デイサービスやショートステイに相当する気がします。では、お母さんが集まる会であるPTAに相当するものが、60年後にあるのか?と聞かれたら、あまり無いのでは?と答えるしかありません。ですから、ご質問はきわめてまつとうな疑問です。在宅医療や在宅介護が、国を挙げて推し進められていますが、それを支える社会基盤は、子育ての基盤と比較するとあまりにも脆弱である、と言わざるをえません。

ですからPTAに相当するもののひとつが、「つどい場」かもしれません、なんて書くと、おそらく丸尾さんに怒られるでしょう。というのもPTAと「つどい場」の違いは、PTAは学校が定めたピラミッド型の組織であるのに対し、「つどい場」は自然発生的で様々な立場の人が「まじくる」場であることです。「まじくる」とは、ごちやませになる、という意味の丸尾氏の造語。要は、とつてもゆるやかで自由な場なのです。だから介護者は思い切り泣けて、ストレスを発散でき、明日からの介護に向き合えるというのです。介護が終わったメンバーは、有償ボランティアとして介護保険制度の合間に埋めています。

介護保険制度があるから在宅療養は大丈夫、なんて思っていたら大間違いです。あくまでも要介護5の人達と、北海道、九州へ2泊3日で旅行する姿は2015年5月、TBSテレビ「報道特集」でも紹介されました。今年はなんと台湾まで旅行が計画されているそうです。要介護5だからこそ飛行機に乗つて

丸尾氏は、介護する人を癒したいと、12年

まで介護の一部を担ってくれるだけであり、

ある程度は家族介護を前提としているのが現

実です。一方、おひとりさまであれば24時間

定期巡回随時対応型訪問看護・介護という制

度があり、私は独居の高齢者でも最期まで在

宅で診ています。しかしこれはまだまだ例外

と考え、在宅療養は家族介護を前提としてい

ると思っていたほうがいいでしょう。ですか

ら勘のいい貴方は、なんとなく「本当に、大丈

夫かなあ」と感じたのではないでしようか。

うな裏情報はありません。

宮崎県の「かあさんの家」に代表されるよ

うに全国各地に「つどい場」のように介護ビ

ジネスとは対極に位置される生活支援の場

が増えていました。愛媛県の「あんき」のよう

に昔の宅老所の延長にある居場所もあります

す。介護を福祉ではなく、ビジネスと捉える

ならば、本来の介護から離れたものになります。

そして金儲けのために「管理」する方

向に行きます。

ご質問への回答としては、まず貴方が住む

地域に「つどい場」のようなNPO法人や介護

仲間が集う場があるのか無いのかを、調べる

ことです。こうした情報は、介護保険制度下

の事業を表とするならば、まさに裏情報。評

そもそも、老人はいつの時代から「管理」さ

れる存在になつたのでしょうか。現在では介

護保険のお世話になることは「管理されるこ

の事業を表とするならば、まさに裏情報。評

判のいいケアマネ、認知症の在宅診療に熱心

な医師に、個人的に尋ねてみてください。人

間が住むこの世は、どこに行つてもヘンな人

がいます。このへんとは、親切などといふい

意味で、これから医療介護のキーワード。

もし見つからなければ、民生委員さんにも聞

いてみてください。役所に行つても、そのよ

周辺症状と呼ばれる症状が出ます。それを見

た管理する側は、さらに管理を強化します。

その結果は、身体拘束や抑制や鎮静です。「管

理」した結果の症状に対してもさらに管理を強

化することは、なにひとつ当事者を利用することはありません。しかしその理不尽さに気が

ついている「管理者」や「プロの介護職」は、ま

だまだ多くない。ビジネス化された介護とは

そんなものだと、割り切っていたほうが落胆

しなくて済むかも。

その点、在宅療養の良さは管理されないと

ですが、貴方はそちらを選ぼうとしていま

す。平穏死という観点からも在宅療養がもつ

とも有利です。管理されない自由は、様々な

リスクも内包しますが、もしつどい場のよう

な仲間がいれば、最初に述べた、「逆まわし」

を楽しめる境地になるかもしれません。逃

げずに介護を楽しんでください。でも決して

無理をしないことも大切。長期戦になるので、

デイサービスやショートステイを上手に使う

ことが鍵になります。ですから相性がいいケ

アマネ選びには、こだわってください。